

作者プロフィール

柚木 文夫氏

千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

谷川岳－錦繡の秋－



谷川岳(天神平から)

10月中旬、古い山仲間との懇親旅行を兼ねて谷川岳（1963年）に出かけた。紅葉見物を期待して選んだ日にちである。

ところが午前10時、土合駅に着い



ロープウェイ天神平駅

たら生憎の雨。衆議一決、直路、今夜予定の宿に繰りこんだ。雨風の音を聞きながら昼間からの酒盛りに、久しぶりの仲間との話は尽きない。それにしても今時の年寄りはいよく飲む。



西黒尾根の紅葉

翌朝は晴天。朝8時の始発ロープウェイで天神平まで上がる。天神平からは、

正面に谷川岳の勇姿を望み、昨夜のオシャベリの続きを楽しみながら天神尾根のどかな登り。9時、熊穴沢ノ頭避難小屋で一休み。ここからやや傾斜の急な岩場の登りになる。



オキノ耳・トマノ耳



トマの耳山頂

見渡せば西黒尾根と俎嶺山稜を彩る紅葉が日に映えて美しい。

肩ノ小屋を過ぎて10時20分、谷川岳・トマの耳の頂上に着いた。風が出て、ガスも上がって来た。苗場、奥白根、皇海などの山々がしばらく見えていたが、間もなく雲に隠れた。

西黒尾根経由で下ることにする。ザンゲ岩を抜け、急な岩場を慎重に下る。若い頃に重い荷物を背負ってかよった尾根がこんなに急傾斜だったのかと、改めて往時のお互いの元気な時代



見上げるマチガ沢

の一齣一齣を思い起こし、今と引き比べ、感慨ひとしおだった。



マチガ沢
の紅葉を見
物しようと、
ラクダノコ
ルから巖剛
新道を下る
ことにした。
下る程に谷

を埋め尽くす見事な紅葉に目を奪われる。12時20分、第一見晴台に到着し、全員異議無く昼食休憩に賛同して座り込んだ。見渡す限り全山、金襴緞子綾錦を張り巡らせたような豪華絢爛の世界の中に身を浸し、幸せ一杯の贅沢なランチタイムを過ごした。

13時半、マチガ沢駐車場到着。後は紅葉見物の人と車で一杯の雑踏に揉まれながら先を急ぎ14時、谷川ロープウエー山麓駅前に到着し、水上駅行きのバスに間に合った。